

～幼児教育と小学校教育の連携・接続ハンドブック～

資 料 編

(令和4年12月一部更新)

オール北海道でつなごう！！
北海道の子ども一人一人の育ちと学び

幼児教育施設※1・小学校等※2・市町村が一体となって、幼児教育と小学校教育（以下「幼小」という。）の連携・接続の取組を推進することにより、子ども一人一人の育ちと学びをつなぎましょう。

幼小連携・接続のポイント

◆幼児が小学校等への就学に期待感を高め、児童が自分の成長を実感できる環境づくり◆

- ◎ まずは、保育者と教職員双方が、顔見知りになる、お世話になる、過度に遠慮しないこと。
- ◎ 保護者の理解と関係機関の協力を得て、幼児が安心して小学校等へ就学できること。
- ◎ 年間を通じて、計画的・継続的に取り組めるようにすること。

【幼児教育施設の取組】

- ・小学校等との交流を年間指導計画に位置付けるなど、連携に係る業務が偏らない組織体制の整備
- ・小学校教育との引継ぎの際に要録等を活用するなど、小学校教育との接続の一層の強化

【小学校等の取組】

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、幼児教育施設からの意見を取り入れたスタートカリキュラムの作成や小学校区内の全ての幼児教育施設との引継ぎの実施

【市町村の取組】

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた学びの連続性について、域内の幼児教育施設と小学校等との共有を図るための取組
- ・各市町村にある幼児教育施設と小学校等の連携体制の整備

北海道幼児教育振興基本方針（2019年度～2022年度）から抜粋

コロナ禍においても、子どもの健やかな育ちを守り支えていくため、様々な手段を取り入れながら、つながりが途切れないよう見通しをもって取組を進めていくことが大切です。

幼小連携・接続の年間スケジュール（イメージ）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
幼児教育施設				【スタートカリキュラムの実施】 ○小学校等での実践の参観					【スタートカリキュラムの評価・改善】 ○小学校等への助言 ○園の教育活動に反映			
小学校等	【引継ぎ内容・場面】 ○要録 ○健康状態・アレルギー等 ○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ○入学説明会			【情報等の共有】 				【幼児・児童の交流】 ○園行事招待・参加 ○学校行事参加・招待 ○散歩・遠足での施設利用（校庭・体育館・図書室・トイレ等） 【保育者・教職員の交流】 ○保育・授業参観 ○幼小合同研修会参加・企画		【情報等の共有】 ○自己評価 ○幼児教育施設の意見収集		
	【スタートカリキュラムの編成】 ○毎年度改善			【スタートカリキュラムの実施】 ○複数の教員が協力して対応 ○校内検証のための会議体				【スタートカリキュラムの評価・改善】 ○自己評価 ○幼児教育施設の意見収集			【引継ぎ場面】 ○学校見学の設定・支援	
市町村	【引継ぎ場面】 ○場の設定・支援			【幼児・児童の交流】 ○交流機会、合同事業の実施促進 【保育者・教職員の交流】 ○交流活動の実施促進 ○幼小合同研修会の企画・運営・支援				【引継ぎ場面】 ○学校見学の設定・支援			【情報等の共有】 広報、お便り、行事予定表	
【連携・接続体制の構築】 幼小連携の会議体												

※1 「幼児教育施設」とは、幼稚園、保育所、認定こども園及び特別支援学校幼稚部を指します。

※2 「小学校等」とは、小学校（義務教育学校の前期課程を含む。）及び特別支援学校小学部を指します。

幼児教育と小学校教育(以下「幼小」という。)の連携・接続を推進するにあたり、望まれる取組事例を掲載しています。恒常的な交流などの実践を踏まえ、接続を見通した教育課程を編成・実施し、検証を通じて、さらによりよいものにしていくことが重要です。

すぐに着手することは難しい項目もあるかもしれませんが、「できること」から始めて、定期的に☑することで現状を把握し、今後の継続的な取組の参考にしてみましょう。

また、当シートは、「**幼児教育施設**」「**小学校等**」「**市町村**」全体でのチェックが可能となっており、さらに詳しい内容については、**それぞれのシートに記載しています。**

※このチェックシートは、取組の方向性を示すもので、取組の評価に直結するものではありません。

確認日 年 月 日

	授業、行事、研究会等の交流	効果的な引継ぎ	スタートカリキュラムの充実
<p>幼児教育施設</p>	<p><input type="checkbox"/> 情報等の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園だより、行事予定表、教育・保育方針等の提供 ○交流日の位置付け ○保護者へ幼小連携・接続の取組の説明 <p><input type="checkbox"/> 幼児・児童の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園行事招待 ○学校行事参加 ○散歩・遠足での小学校等施設利用（校庭・体育館・図書室・トイレ等） ○合同避難訓練、交通安全教室等の企画・参加 <p><input type="checkbox"/> 保育者・教職員の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業参観、参観後意見交換 ○幼小合同研修会の企画・参加 ○交流活動の窓口明確化・連携 	<p><input type="checkbox"/> 引継ぎ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要録 ○健康状態、アレルギー、その他必要事項 ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点 ○個別的教育支援計画に準ずる内容 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎ方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独自の資料・項目（シート）等の工夫 ○要録に目を通してもらった上での協議 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎの主体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織的な引継ぎ ○入学する全学校を対象 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対面及び電話活用 ○年間を通した引継ぎ機会の確保 	<p><input type="checkbox"/> 共通理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解 ○児童の発達・特性の理解 ○小学校等の教育内容、教育方針の理解 ○「小学校学習指導要領」の把握 <p><input type="checkbox"/> 編成・実施・評価・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校等での実践の参観 ○小学校等への助言 ○園の教育活動に反映
<p>小学校等</p>	<p><input type="checkbox"/> 情報等の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校だより、行事予定表、スタートカリキュラム、教育方針等の提供 ○交流日の位置付け ○保護者へ学校紹介、行事紹介、スタートカリキュラムの説明 <p><input type="checkbox"/> 幼児・児童の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園行事参加 ○学校行事招待 ○園訪問（教科等） ○合同避難訓練、交通安全教室等の企画・参加 <p><input type="checkbox"/> 保育者・教職員の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育参観、参観後意見交換 ○幼小合同研修会の企画・参加 ○交流活動の窓口の明確化・連携 	<p><input type="checkbox"/> 引継ぎ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要録 ○健康状態、アレルギー、その他必要事項 ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点 ○個別的教育支援計画に準ずる内容 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎ方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独自の資料・項目（シート）等の工夫 ○要録に目を通した上での協議 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎの主体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織的な引継ぎ ○入学する全施設を対象 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対面及び電話活用 ○年間を通した引継ぎ機会の確保 	<p><input type="checkbox"/> 共通理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解 ○幼児の発達・特性の理解 ○幼児教育施設の教育・保育内容、教育・保育方針の理解 ○「幼稚園教育要領」等の把握 <p><input type="checkbox"/> 編成・実施・評価・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○趣旨を全教員で共通理解 ○複数の教員が協力して対応 ○自己評価、毎年度改善 ○幼児教育施設の意見収集 ○校内検証のための会議体設置
<p>市町村</p>	<p><input type="checkbox"/> 情報等の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報 ○保護者へ幼小連携・接続の取組の説明 ○お便り、行事予定表、スタートカリキュラム、教育・保育方針等の共有 ○地域と連携した体制づくり <p><input type="checkbox"/> 幼児・児童の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流機会、合同事業の実施促進 <p><input type="checkbox"/> 保育者・教職員の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流活動の実施促進 ○幼小合同研修会の企画・運営・支援 <p><input type="checkbox"/> 連携・接続体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼小連携の会議体等連携機会の設定 ○幼小連携・接続の方向性の共有 	<p><input type="checkbox"/> 引継ぎ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼小関係機関の情報共有の支援 ○個別的教育支援計画に準ずる内容 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎ方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独自の資料・項目（シート）作成等の工夫 ○効果的な引継ぎの実施を推奨 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎの主体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入学する全施設との引継ぎ支援 <p><input type="checkbox"/> 引継ぎ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ○場の設定・支援 ○就学相談 ○学校見学の設定・支援 	<p><input type="checkbox"/> 共通理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解 ○教育・保育内容、教育・保育方針の理解促進 ○教育要領・保育指針・指導要領等の理解促進 <p><input type="checkbox"/> 編成・実施・評価・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実践の参観 ○編成の支援 ○検証・改善の支援 ○好事例の共有

◆「幼児教育施設」「小学校等」「市町村」ごとに想定される取組を区分していますが、自治体の規模や各地域のこれまでの取組等を踏まえ、適宜、役割を見直しながら連携を進めましょう。

※「幼児教育施設」とは、幼稚園、保育所、認定こども園及び特別支援学校幼稚部を指します。

※「小学校等」とは、小学校（義務教育学校の前期課程を含む。）及び特別支援学校小学部を指します。

◆幼児教育施設のチェックシート◆ Ver.1

幼児教育と小学校教育(以下「幼小」という。)の連携・接続を推進するにあたり、望まれる取組事例を掲載しています。

恒常的な交流などの実践を踏まえ、接続を見通した教育課程を編成・実施し、検証を通じて、さらによりよいものにしていくことが重要です。

すぐに着手することは難しい項目もあるかもしれませんが、「できること」から始めて、定期的に☑することで現状を把握し、今後の継続的な取組の参考にしてみましょう。

※このチェックシートは、取組の方向性を示すもので、取組の評価に直結するものではありません。

確認日 年 月 日

	授業、行事、研究会等の交流	効果的な引継ぎ	スタートカリキュラムの充実
幼 児 教 育 施 設	情報等の共有 <input type="checkbox"/> 園だより、行事予定表、教育・保育方針などを小学校等や市町村へ情報提供している。 <input type="checkbox"/> 小学校等と調整して年間行事に交流日を位置付けている。 <input type="checkbox"/> 保護者に園だよりや説明会などの機会を通じて、幼小連携・接続の取組及びその重要性を説明している。 <input type="checkbox"/>	引継ぎ内容 <input type="checkbox"/> 要録を基にしている。 <input type="checkbox"/> 幼児の健康状態、アレルギー、その他必要な事項も含めている。 <input type="checkbox"/> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点としている。 <input type="checkbox"/> 幼児の様々な情報を保護者が記録・保管するための手段を活用して、個別の教育支援計画に準ずる内容の引継ぎをしている。 <input type="checkbox"/>	共通理解 <input type="checkbox"/> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解している。 <input type="checkbox"/> 小学校等での児童の発達・特性を理解している。 <input type="checkbox"/> 小学校等の教育内容・教育方針を理解している。 <input type="checkbox"/> 「小学校学習指導要領」を把握している。 <input type="checkbox"/>
	幼児・児童の交流 <input type="checkbox"/> 児童を園行事に招待している。 <input type="checkbox"/> 小学校等の行事に参加している。 <input type="checkbox"/> 散歩、遠足などの際に小学校等の校庭、体育館、図書室、トイレなどの施設を利用している。 <input type="checkbox"/> 小学校等と合同で避難訓練や交通安全教室などを企画又は、参加している。 <input type="checkbox"/>	引継ぎ方法 <input type="checkbox"/> 市町村等独自の資料や引継ぎ項目(シート)などの工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 要録(写)などを事前に小学校等に目を通してもらい、互いに協議している。 <input type="checkbox"/>	編成・実施・評価・改善 <input type="checkbox"/> 小学校等が作成するスタートカリキュラムの実践を参観している。 <input type="checkbox"/> 小学校等が作成するスタートカリキュラムへの助言を行っている。 <input type="checkbox"/> 小学校等が作成するスタートカリキュラムを参考に自園の教育活動に反映したり、カリキュラムの改善を図っている。 <input type="checkbox"/>
	保育者・教職員の交流 <input type="checkbox"/> 小学校等の学校公開日や参観日などで授業を参観したり、参観後の意見交換・協議に参加している。 <input type="checkbox"/> 幼小合同研修会を企画又は、参加している。 <input type="checkbox"/> 小学校等との交流活動の窓口を明確化し、事前打ち合わせ、指導案の作成・協議、情報交換、事後の振り返りなどを行っている。 <input type="checkbox"/>	引継ぎの主体 <input type="checkbox"/> 主任や担任などが組織的に引継ぎをしている。 <input type="checkbox"/> 所属する幼児が入学する全ての小学校を対象としている。 <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 項目は、取組の実践例になっています。他にも地域で実施している特色ある取組を書き入れてみるのも良いでしょう。 </div> 
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆まずは、近隣の学校を想定してチェックしてみましょう。徐々に幼児が入学する他の学校にも広げてみましょう。</p> <p>◆「幼児教育施設」「小学校等」「市町村」ごとに想定される取組を区分していますが、自治体の規模や各地域のこれまでの取組等を踏まえ、適宜、役割を見直しながら連携を進めましょう。</p> </div>		

※「幼児教育施設」とは、幼稚園、保育所、認定こども園及び特別支援学校幼稚部を指します。

※「小学校等」とは、小学校(義務教育学校の前期課程を含む。)及び特別支援学校小学部を指します。

◆小学校等のチェックシート◆ Ver.1

幼児教育と小学校教育(以下「幼小」という。)の連携・接続を推進するにあたり、望まれる取組事例を掲載しています。

恒常的な交流などの実践を踏まえ、接続を見通した教育課程を編成・実施し、検証を通じて、さらによりよいものにしていくことが重要です。

すぐに着手することは難しい項目もあるかもしれませんが、「できること」から始めて、定期的に回することで現状を把握し、今後の継続的な取組の参考にしてみましょう。

※このチェックシートは、取組の方向性を示すもので、取組の評価に直結するものではありません。

確認日 年 月 日

	授業、行事、研究会等の交流	効果的な引継ぎ	スタートカリキュラムの充実
小学校等	情報等の共有 <input type="checkbox"/> 学校だより、行事予定表、スタートカリキュラム、教育方針などを幼児教育施設や市町村へ情報提供している。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設と調整して年間行事に交流日を位置付けている。 <input type="checkbox"/> 入学説明会などの際に入学予定の幼児や保護者に学校紹介や年間の行事紹介のほか、スタートカリキュラムなどの説明をしている。 <input type="checkbox"/>	引継ぎ内容 <input type="checkbox"/> 要録を基にしている。 <input type="checkbox"/> 幼児の健康状態、アレルギー、その他必要な事項も含めている。 <input type="checkbox"/> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点としている。 <input type="checkbox"/> 幼児の様々な情報を保護者が記録・保管するための手段を活用して、個別の教育支援計画に準ずる内容の引継ぎをしている。 <input type="checkbox"/>	共通理解 <input type="checkbox"/> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解している。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設での幼児の発達・特性を理解している。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設の教育・保育内容、教育・保育方針を理解している。 <input type="checkbox"/> 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を把握している。 <input type="checkbox"/>
	幼児・児童の交流 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設の行事に参加している。 <input type="checkbox"/> 幼児を学校行事に招待している。 <input type="checkbox"/> 生活科などで園訪問をしている。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設と合同で避難訓練や、交通安全教室などを企画又は、参加している。 <input type="checkbox"/>	引継ぎ方法 <input type="checkbox"/> 市町村等独自の資料や引継ぎ項目(シート)などの工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 要録(写)などに事前に目を通してから互いに協議している。 <input type="checkbox"/>	編成・実施・評価・改善 <input type="checkbox"/> スタートカリキュラムの趣旨を全ての教員で共通理解している。 <input type="checkbox"/> スタートカリキュラムを実施する際、複数の教員が協力して対応している。 <input type="checkbox"/> スタートカリキュラムの自己評価をし、次年度へ向けて検証改善を行っている。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設からスタートカリキュラムについて意見収集している。 <input type="checkbox"/> 学校内にスタートカリキュラムの校内検証のための会議体を設置している。 <input type="checkbox"/>
	保育者・教職員の交流 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設の保育参観日などで保育を参観したり、参観後の意見交換・協議に参加している。 <input type="checkbox"/> 幼小合同研修会を企画又は、参加している。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設との交流活動の窓口を明確化し、事前打ち合わせ、指導案の作成・協議、情報交換、事後の振り返りなどを行っている。 <input type="checkbox"/>	引継ぎの主体 <input type="checkbox"/> 教務主任や養護教諭、特別支援コーディネーターなどが組織的に引継ぎをしている。 <input type="checkbox"/> 入学予定の幼児が所属する全ての幼児教育施設を対象としている。 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		引継ぎ場面 <input type="checkbox"/> 対面での引継ぎがかなわない場合、電話などで行っている。 <input type="checkbox"/> 幼児と児童の交流や入学説明会、保育参観など、年間を通じて効果的な引継ぎの機会をもっている。 <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>項目は、取組の実践例になっています。他にも地域で実施している特色ある取組を書き入れてみるのも良いでしょう。</p> </div> 
<p>◆まずは、近隣の幼児教育施設を想定してチェックしてみましょう。徐々に学校区内全ての幼児教育施設に拡げてみましょう。 ◆「幼児教育施設」「小学校等」「市町村」ごとに想定される取組を区分していますが、自治体の規模や各地域のこれまでの取組等を踏まえ、適宜、役割を見直しながら連携を進めましょう。</p>			

※「幼児教育施設」とは、幼稚園、保育所、認定こども園及び特別支援学校幼稚部を指します。

※「小学校等」とは、小学校(義務教育学校の前期課程を含む。)及び特別支援学校小学部を指します。

◆市町村のチェックシート◆ Ver.1

幼児教育と小学校教育(以下「幼小」という。)の連携・接続を推進するにあたり、望まれる取組事例を掲載しています。

恒常的な交流などの実践を踏まえ、接続を見通した教育課程を編成・実施し、検証を通じて、さらによりよいものにしていくことが重要です。

すぐに着手することは難しい項目もあるかもしれませんが、「できること」から始めて、首長部局と教育委員会と定期的に回することで現状を把握し、今後の継続的な取組の参考にしてみましょう。

※このチェックシートは、取組の方向性を示すもので、取組の評価に直結するものではありません。

確認日 年 月 日

	授業、行事、研究会等の交流	効果的な引継ぎ	スタートカリキュラムの充実
市町村	情報等の共有 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 幼小連携・接続の取組などについて執行方針に位置付け、広報紙等で広く住民に周知している。 <input type="checkbox"/> 入学予定の幼児の保護者に域内の学校紹介や新入生向け行事紹介、スタートカリキュラムなど幼小連携・接続の取組及びその重要性を説明している。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設及び小学校等間のお便り、行事予定表、スタートカリキュラム、教育・保育方針などの情報共有を促進するとともに、市町村関係部局内でも共有している。 <input type="checkbox"/> 学校運営協議会など、地域との連携による幼小連携・接続を支える体制づくりをしている。 <input type="checkbox"/> 	引継ぎ内容 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 幼児教育施設や小学校等と関係機関における情報共有が円滑に行われるようサポートしている。 <input type="checkbox"/> 幼児の様々な情報を保護者が記録・保管するための手段を活用して、個別の教育支援計画に準ずる内容の引継ぎを促進している。 <input type="checkbox"/> 引継ぎ方法 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 市町村等独自の資料や引継ぎ項目(シート)の作成など工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 要録(写)などの事前確認等効果的な引継ぎの実施を推奨している。 <input type="checkbox"/> 引継ぎの主体 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 小学校等が、入学する幼児が所属する全ての幼児教育施設と引継ぎができるようサポートしている。 <input type="checkbox"/> 	共通理解 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 幼児教育施設及び小学校等における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解を促進している。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設と小学校等双方の教育・保育内容、教育・保育方針の理解を促進している。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設と小学校等双方の教育要領・保育指針・指導要領等の理解を促進している。 <input type="checkbox"/> 編成・実施・評価・改善 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> スタートカリキュラムの編成に参画したり、実践の場を参観したりしている。 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設の意見を取り入れたスタートカリキュラムが編成されるようサポートしている。 <input type="checkbox"/> 小学校等におけるスタートカリキュラムの検証改善をサポートしている。 <input type="checkbox"/> 市町村内外の好事例を共有し、全体の向上を図っている。 <input type="checkbox"/>
	幼児・児童の交流 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 幼児と児童の交流の機会や合同の取組などの実施を促進している。 <input type="checkbox"/> 	引継ぎ場面 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 域内の幼児教育施設と小学校等の担当者が集まり、引継ぎを行う場の設定又は、各地域の企画・運営をサポートしている。 <input type="checkbox"/> 就学相談の機会を設定している。 <input type="checkbox"/> 入学予定の幼児や保護者の学校見学の機会などを設定又は、各地域の企画・運営をサポートしている。 <input type="checkbox"/> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>項目は、取組の実践例になっています。他にも地域で実施している特色ある取組を書き入れてみるのも良いでしょう。</p> </div> 
	連携・接続体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 域内の幼児教育施設と小学校等及び市町村(首長部局・教委)をつなげる会議体などの連携の機会を設定している。 <input type="checkbox"/> 上記会議体などで、域内の幼児教育施設と小学校等と自治体としての幼小連携・接続の方向性について協議し共有している。 <input type="checkbox"/> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>◆「幼児教育施設」「小学校等」「市町村」ごとに想定される取組を区分していますが、自治体の規模や各地域のこれまでの取組等を踏まえ、適宜、役割を見直しながら連携を進めましょう。</p> </div>	

※「幼児教育施設」とは、幼稚園、保育所、認定こども園及び特別支援学校幼稚部を指します。

※「小学校等」とは、小学校(義務教育学校の前期課程を含む。)及び特別支援学校小学部を指します。

(2) 関係法令（連携・接続関係）

保育所保育指針

平成29年3月31日告示

第2章 保育の内容

4 保育の実施に関して留意すべき事項

(2) 小学校との連携

- ア 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。
- イ 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第1章の4の(2)に示す「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。
- ウ 子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

幼稚園教育要領

平成29年3月31日告示

第1章 総則

第3 教育課程の役割と編成等

5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- (1) 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- (2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

平成29年3月31日告示

第1章 総則

第2 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等

1 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画の作成等

(5) 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- ア 幼保連携型認定こども園においては、その教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携型認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

小学校学習指導要領

平成29年3月31日告示

第1章 総則

第2 教育課程の編成

4 学校段階等間の接続

教育課程の編成に当たっては、次の事項に配慮しながら、学校段階等間の接続を図るものとする。

- (1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。

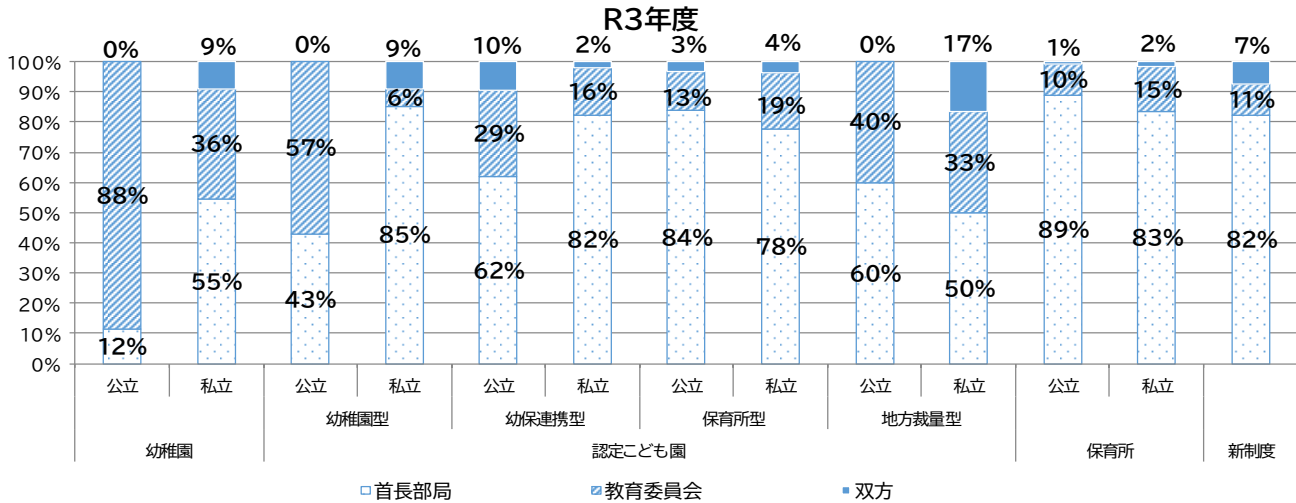
特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

(3) 道内データ

ア 幼児教育施設の担当部局の状況

幼児教育施設や制度の行政窓口について、担当している部局を調査。（幼稚園型認定こども園は「幼稚園」、保育所型認定こども園は「保育所」として回答）

R3.5.1現在



- ・認定こども園及び保育所については、公私を問わず首長部局が担当している市町村が多い。
- ・平成29年度調査と比較し、令和3年度は幼稚園と認定こども園で首長部局が担当している割合が増加。

イ 幼小連携・接続のための会議体の有無

幼児教育と小学校教育の連携・接続に関する施策の方向性や施策の展開方策を協議する会議体の有無を調査。

R3.5.1現在

会議体の有無	178市町村中
あり	63
なし	86
検討中	29

- ・幼児教育に特化した会議体を立ち上げたもののほか、他テーマを主とする既存の会議体に新たに幼児教育をテーマとして加えたものもある。
- ・幼児教育施設、小学校、教育委員会だけでなく、市町村首長部局や校長会、特別支援学校職員、児童クラブなども構成員とするものも多い。

(4) 用語解説

数字は、当該用語が記載されているページを表示しています。

あ行

■遊びを通した学び（1、5）

自発的な活動としての遊びにおいて、幼児は心身全体を働かせ、様々な体験を通して心身の調和のとれた全体的な発達の基礎を築いていくことから、自発的な活動としての遊びは、幼児期特有の学びであるということ。

か行

■環境の構成（4）

保育者が、具体的なねらいをもって、子どもが主体的に活動を行い、発達に必要な経験を重ねていくための環境を意図的に選択し、構成する行為。

■教育課程（4、5、6）

学校教育の目的や目標を達成するため、幼児児童生徒の心身の発達に応じ、教育の内容を授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画。

■個別最適な遊び・協働的な遊び（1）

令和3年答申（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して）の柱となる概念を踏まえた造語。多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な遊び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な遊び」の充実を図ろうとするもの。

さ行

■自覚的な学び（4、7）

学ぶということについての意識があり、集中する時間とそうでない時間の区別が付き、与えられた課題を自分の課題として受け止め、計画的に学習を進めることであり、小学校における各教科等の授業を通した学習がこれにあたる。

■資質・能力（三つの柱）（2、4）

平成29年の学習指導要領改訂において、育成を目指す資質能力が（1）「知識及び技能（の基礎）」、（2）「思考力、判断力、表現力等（の基礎）」、（3）「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で整理され、「何ができるようになるか」が明確化された。（なお、幼稚園教育要領等には、「の基礎」が付される。）

また、同時に、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針にも盛り込まれた。

■児童（5ほか）

児童とは、学校教育法上満6歳に達した日の翌日以降における最初の学年の初めから満12歳に達した日の属する学年の終わりまでのものを指す。

■小学校教育（1ほか）

本手引きにおいては、6歳から12歳までの中学校入学前までの全ての児童に対する教育を意味し、小学校・特別支援学校小学部における教育を指す。

■小学校等（2ほか）

小学校（義務教育学校の前期課程を含む）及び特別支援学校小学部を指す。

は行

■PDCAサイクル（6）

計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）のマネジメントサイクルにより、取組の評価を行い、改善を図ること。

■保育者（1ほか）

幼児教育施設において教育に携わる幼稚園教諭、保育士、保育教諭等を指す。

ま行

■学びの芽生え（1、7）

学ぶということを意識しているわけではないが、楽しいことや好きなことに集中することを通じて、様々なことを学んでいくことであり、幼児期における遊びの中での学びがこれにあたる。

や行

■幼児（1ほか）

幼児とは、狭義では、幼稚園、特別支援学校幼稚部に在籍するものを指すが、本ハンドブックでは、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における園児、保育所保育指針における子ども、乳児を含め、ゼロ歳から小学校等就学前までを指す。

■幼児教育（1ほか）

本ハンドブックにおいては、ゼロ歳から小学校等就学前までの全ての乳幼児に対する教育を意味し、幼稚園・保育所・認定こども園・特別支援学校幼稚部における教育・保育はもとより、家庭や地域社会など幼児が生活する全ての場において行われる教育を指す。

■幼児教育施設（2ほか）

幼稚園、保育所、認定こども園及び特別支援学校幼稚部を指す。

